

第3章

計画の推進

1 進行管理の仕組み

この計画は、基本目標「みんなでのばす健康寿命 ～つながる、広がる、健康づくりの輪～」を目指し、市民や事業者、行政など社会全体が一体となって健康づくりを進めていくものです。

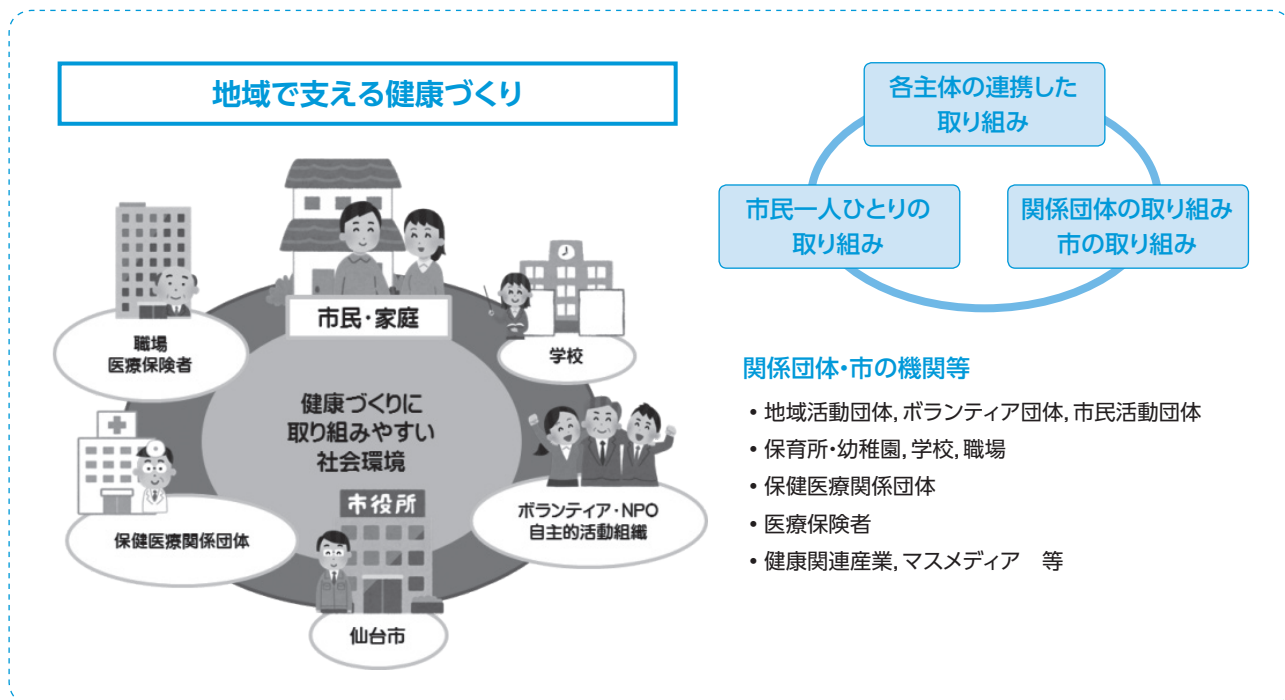
このため、あらゆる主体が共有できるよう、客観性のある指標を使って進行管理をしていきます。

年度毎にアクションプランを作成し、PDCAサイクルを基本に進行管理を行います。

2 計画の推進体制

計画の進行管理にあたっては、実態とともに指標を毎年把握し公表します。また、「仙台市地域保健・保健所運営協議会」による総合的な進捗状況の把握と評価を行います。最終年には市をはじめ市民を取り巻く団体等の取り組みを総合的に評価し、取り組みの体系や指標等計画の見直しを行います。

この計画は、市民の生活を取り巻くあらゆる団体等が連携・協力し合い、それぞれが主体的・積極的に役割を果たすことによって目標を達成することを目指しており、それぞれの主体の取り組みの推進にあたっては、市民一人ひとりと市、関係機関と市といった主体間の連携した取り組みも重要となります。



3 各主体による取り組み

健康づくりは、市民一人ひとりが意識と行動を変えていくことが必要です。さらに、市民の生活を取り巻くあらゆる団体等が連携・協力し合い、それぞれ主体的かつ積極的に役割を果たすことで、計画の推進を図ります。

(1) 市民一人ひとりの役割

健康づくりは、基本的には市民一人ひとりの意識・行動によるものであり、そのためには、自らの健康状態と課題を認識し、自分自身の生活の質(QOL)の向上を目指して健康的な生活習慣を身につけていくことが必要です。家庭は、食習慣をはじめとして健康的な生活習慣を身につける役割や、休養や、やすらぎの場としての役割等があります。個人を取り巻く最も身近な生活環境である家庭では、隣人や友人とともに家族の健康づくりを理解し、支えていくことが重要です。また、自分の住む地域への関心を高め、様々な地域活動に自主的に参加し、交流を深めていくことも大切です。

(2) 自主的活動組織等の役割

市民一人ひとりが健康づくりに取り組むにあたっては、共通の目的意識を持ち、共に活動する仲間がいることは大きな意義を持ちます。地域には、さまざまなグループや市民活動団体が結成され、自主的活動が活発に行われています。それぞれの活動組織は、健康づくりについて主体的に考え、メンバー自身のための健康づくり活動の実践とともに、幅広く地域の人々の健康を支えるための活動を行うことも期待されます。また、地域の様々な組織が積極的な交流を図ることによって、活動の情報交換を行い、お互いの活動をさらに活性化することも期待されます。

(3) 学校の役割

学校は、学齢期・青年期における主たる生活の場でもあることから、社会生活・集団生活の基礎及び生涯にわたる望ましい生活習慣を身につける上で重要な役割を担っています。小・中・高等学校では、児童・生徒が自らの健康について考え、適切に管理していくことができる資質や能力を養う教育を行う必要があります。また、専門学校や大学などの教育機関にも、学生が自己の健康管理ができるよう働きかけていくことが求められます。

さらに、小・中学校には、家庭や地域等と連携し、子どもとともに進める健康づくりの学習の場となるような役割も期待されます。

(4) 職場の役割

職場は、主に青年期から壮年期までの時期を過ごす場であり、働いている時期の健康管理だけでなく、退職後の健康維持の面からも重要な役割を果たします。職場は、労働環境の改善を図ることと併せて、健康診断の充実とともに一次予防や重症化予防を重視した保健指導、メンタルヘルス対策等、従業員が健康づくりに取り組みやすい環境を整備していくことが期待されます。

(5) 保健医療関係団体の役割

医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師・栄養士・歯科衛生士などの保健医療専門家は、その専門性を生かして、市民の健康問題に対する働きかけや技術・情報の提供ができます。特に「かかりつけ医」や「かかりつけ歯科医」などには、病気の治療のみならず、病気の発症予防への大きな役割が、薬局・薬剤師には、医薬品の適正な使用や健康に関する相談、情報提供などの役割が期待されます。また、検診団体などの関係機関は、各種検診の実施や、保健衛生に関する知識や技術の普及・啓発活動を行っており、今後も一層の取り組みの強化が期待されます。

(6) 医療保険者の役割

加入者やその扶養者に対し、特定健康診査・特定保健指導の実施や、健康の保持増進に必要な事業を実施する役割があり、医療費を軽減する観点からも、一次予防や重症化予防の充実強化を図る必要があります。

(7) 健康関連産業の役割

健康関連商品やサービスを提供することにより市民の健康づくりに貢献しており、市民が的確にそれらを選択できるように、適切な情報を提供することが期待されます。

また、外食産業には、栄養成分表示や健康的な食の提供等、栄養・食生活において市民をサポートする取り組みが期待されます。

(8) マスメディアの役割

不特定多数の人々を対象に大量の情報を迅速に伝える役割があり、科学的根拠に基づいた正確な健康情報を適切に提供することが期待されます。

(9) 市の役割

市は市民の健康づくりについて、総合的かつ計画的に推進していくために、団体等と協働で、効果的な施策を展開する必要があります。

保健福祉センター等は、地域の健康づくりの拠点として、市民の健康づくりの意識や行動の変容を促す適切な啓発活動を行い、また、市民や地域の団体・関係機関等とともに健康づくりを推進するための環境整備を図っていきます。

これらを実行するために地域の健康課題を明らかにし、その課題解決のための方策を構築、実践します。同時にその評価のプロセスを重視し、市民や地域の団体・関係機関等の参画を得て推進していきます。

(10) 団体等の連携・協働

健康づくりに関わる団体等は、健康づくりの向かうべき方向性を共有し、資質の向上や人材の育成を図り、各々の特徴を生かして連携・協力し合いながら、効果的に健康づくりを推進していくことが必要です。そのため、連携・調整の場づくりや協働事業等を積極的に進めていきます。